

厚い被災支援予算議決

**H28年
第4回
定例会**

一般会計230億に迫る

本年度最後の定例会でも、生活支援・災害復旧事業費に多くの予算が充てられた。そんな中、復興の明かりを灯す（17・4・16熊本地震復興イベント in 南阿蘇）に1000万円。被害にあつた地域が長年守り続けた神社仏閣などの施設の再建に1・5億円が新たに復興基金から盛り込まれた。民生費補正額8・3億円、総額12・7億円。農林水産費補正額3900万円、総額8・7億円。災害復旧費補正額9・3億円。うち、国・県が代行事業で行っている道路整備の負担金は8・8億円、総額41億円などの補正が行われ、補正額は17・7億円、一般会計総額は229・6億円となった。基金からは、財政調整基金より1億円、災害復興基金より5500万円繰り入れた。

平成28年第4回定例会が12月13日から4日間の会期で開催。地域施設の復旧を支援する予算を含む28年度一般会計補正予算1件・特別会計補正予算6件・条例制定2件・条例改正2件・追加議案2件など全議案を審議し原案通り可決し、請願と陳情3件も採択した。日程初日多くの傍聴者の中、5人の議員が、行政の諸問題に対し一般質問した。第3回定例会で委員会付託の陳情1号（長野集落農機具購入助成）は不採択、陳情3号（有白水クリーニンングセンター・有白水ジュータンサービスに補助金が支出された件）は審査未了。人権擁護委員として、長尾和秀氏（67）と市原邦幸氏（68）を推薦。

被災者の生活支援	1億6,600万円
二重ローン対策	2,000万円
認可外保育園の保育料補助	4,300万円
放課後児童クラブの利用料補助	2,600万円
私立幼稚園の授業料等補助	7,700万円
防災・安全対策	2億4,500万円
木造住宅耐震診断への補助	2億4,500万円
公共施設などの復旧支援	6億3,700万円
地域水道施設の災害復旧支援	2億8,700万円
農地の自力復旧支援	3億5,000万円
地域コミュニティ施設などの復旧支援	15億4,600万円
地域コミュニティ施設再建支援	10億9,000万円
自治公民館の再建支援	2億7,000万円
消防団詰め所再建支援	1億8,600万円

熊本県復興基金第1次メニュー（案）



地域コミュニティ施設再建支援
1億5000万円

採択された請願・陳情紹介

「立野地区北側山麓」の防災に関する請願
立野地区住民の安心・安全な生活再建を図るために、北側山麓の崩壊に対する防災対策として、強靱な砂防えん堤・防護柵等の設置工事の早期着手整備を実施したい。

請願者

立野区・新所区・駅区 各区長連名

紹介議員 丸野議員
賛成討論者 後藤議員

「久木野温泉 木の香湯」の早期復興を求める請願
村民一丸となつて、木の香湯の再生を目指せば地域活力の増進に寄与、観光立村としての南阿蘇の収益増に貢献するため、早期復興を求める。

請願者

紹介議員 吉田俊郎
伊藤議員

「旧久木野中学校地」の払い下げを求める陳情
現在旧久木野中学校の一部は、自治活動の拠点としている。今般中学校の閉校にあたりこれらの土地について、第5駐在区による管理と活用を図り、地域文化の継承と活性化に繋げたいので、払い下げを願う。

陳情者

第5駐在自治会代表 浅尾守光
猶須公民館長 藤崎健次

賛成討論者 脇坂議員

議員発議

中山間地域等直接支払い制度協定違反に伴う交付金返納の免除を求める発議

長野集落は、地震・豪雨災害に見舞われ、農作業の